

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金に係る効果検証

1 地方創生推進タイプ

【目的】 地方創生のさらなる深化・高度化のため、本交付金を活用し、自治体が地方版総合戦略に位置付けて実施する先導的な複数年度の取組を支援。

【交付率】 2分の1以内

【要件】 しごとの創生、地方への人の流れ、働き方改革、スポーツ・健康まちづくり等に関する、主にソフト事業が対象。

○令和4年度実績

交付金	事業名	総事業費	交付金	備考
推進タイプ (1/2)	東九州メディカルバレー構想に基づく医療関連機器産業成長戦略事業	1,844,536	922,268	R4採択
	リラックスサーフタウン日向活力創出プロジェクト	38,108,793	19,054,396	R2採択
	合計	39,953,329	19,976,664	

2 地方創生推進タイプ（道整備事業）

【目的】 地域再生法に基づき、地域における就業の機会の創出、経済基盤の強化又は生活環境の整備のための基盤となる施設の整備のうち、地方版総合戦略に位置づけられたものに対して支援。

【交付率】 2分の1以内

地方公共団体作成の地域再生計画に基づき、以下の対象分野ごとに、省庁の所管を超えた2種類以上の施設を一体的に整備する事業に対して支援。
【要件】 [交付金の対象分野]
道（市町村道、広域農道、林道）、污水处理施設（公共下水道、集落排水施設、浄化槽）、港（重要港湾（特定有人国境離島地域に位置するものに限る）又は地方港湾、第1種漁港又は第2種漁港）

○令和4年度実績額

交付金	事業名	総事業費	交付金	備考
推進タイプ 道整備 (1/2)	人と自然の地域力！ 「木」が「喜」になるまちづくりプロジェクト	175,395,479	87,471,000	R3採択
	合計	175,395,479	87,471,000	

【交付金種別】 地方創生推進タイプ

NO		交付金対象事業名称		事業目的・概要						
1		東九州メディカルバレー構想に基づく医療関連機器産業成長戦略事業		大分県と宮崎県では、2010年に東九州メディカルバレー構想を策定し、大分県から宮崎県に広がる東九州地域において、血液や血管に関する医療を中心に、産学官が連携を深め、医療機器産業の一層の集積と地域経済への波及、更にはこの産業集積を活かした地域活性化と、医療分野でアジアに貢献する地域を目指している。 ついては、血液・血管関連の医療機器を中心として、自治体の広域連携により、介護・福祉機器分野を含む医療関連機器産業の競争力強化と海外市場への展開を見据えた研究開発の促進、地場企業の育成と成長、医療関連技術人材の育成などに取り組む。 また、今後の医療関連産業の成長と、急速な医療・診療及び医療関連機器のデジタル化に対応するため、医療技術や機器開発に対するD Xの視点等を加えながら産学官連携で取り組み、次世代医療への対応、デジタル化が進展した社会に対応した機器開発を進めていく。						
総合戦略の位置づけ										
戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり										
事業開始		事業終期								
令和4年4月		令和7年3月								
実施事業名				総事業費	交付金対象経費	財源内訳		実施内容		
						交付金	一般財源等			
1	宮崎県北部メディカル産業推進協議会による参入開発促進事業【新たに組織する協議会への負担金】			1,844,536	1,844,536	922,268	922,268	宮崎県北部メディカル産業推進協議会による参入開発促進事業負担金		
〈内訳〉Ⅰ		医工連携コンサル企業との連携による専門家派遣等事業（委託料）		1,147,590	1,147,590	573,795	573,795	専門家派遣による企業の参入支援		
〈内訳〉Ⅱ		セミナー合同開催事業（使用・賃借料等）		76,311	76,311	38,156	38,155	介護・福祉機器、医療関連機器開発等に関するセミナーの開催		
〈内訳〉Ⅲ		展示会・商談会出展支援事業（使用料・賃借料等）		322,301	322,301	161,150	161,151	介護・福祉機器、医療関連機器展示会・商談会への出展支援		
〈内訳〉Ⅳ		機器開発補助事業（補助金）		267,789	267,789	133,895	133,894	試作品等の機器開発補助		
〈内訳〉Ⅴ		協議会運営（事務費等）		30,545	30,545	15,272	15,273	協議会運営に係る事務費		
合計（円）（〈内訳〉Ⅰ～Ⅴ）				1,844,536	1,844,536	922,268	922,268			
重要業績評価指標（K PⅠ）				単位	事業開始前	K PⅠ	R4年度	R5年度	R6年度	増加分累計
1	医療・介護・福祉関連機器の市場化件数			件	0.00	目標値	2.00	2.00	3.00	7.00
						実績値	2.00	-	-	2.00
2	メディカルバレー推進プラットフォームによる「開発実現等検証会議」で認定された事業件数			件	0.00	目標値	3.00	4.00	5.00	12.00
						実績値	2.00	-	-	2.00
3	海外大学・医療機関・介護・福祉施設との調査マッチング件数			件	0.00	目標値	2.00	3.00	4.00	9.00
						実績値	12.00	-	-	12.00
事業効果		地方創生に効果があった	企業データをもとに、介護・福祉機器、医療関連機器に参入可能性のある企業をリストアップし、専門家派遣によるヒアリングや製造現場の視察を行い、新規参入への意向調査や、可能性についてのアドバイスを実施した。 企業自らでは気づけなかった自社の強みや、技術活用の可能性を客観的に評価されることで興味や意欲を示す企業を確認することができた。							
今後の方針		事業の継続	本市においてはまだ介護・福祉機器、医療関連機器産業への参入事例が少ないため、今後もセミナー開催や専門家派遣事業等の活用により、新たな参入企業の掘り起こしや、人材の育成に取り組んでいく。 同産業に興味を示す企業に対して、自社の技術やノウハウの棚卸し、新たな技術革新やデジタル化への対応等を支援することで、事業拡大による雇用創出につなげ地域活性化を図っていく。							
評価		介護・福祉機器、医療関連機器産業については、今後も成長していくことが期待される分野であり、専門家派遣による企業へのヒアリングや視察による分析結果をもとにしたアドバイスの実施によって、自社の技術の棚卸や可能性について検討を行う企業もあり、セミナーの開催や展示会・商談会への出展支援等と合わせて、今後の企業の成長につなげていけるものと考えます。								

【交付金種別】 地方創生推進タイプ

No		交付金対象事業名称		事業目的・概要								
2		リラックスサーフタウン日向活力創出プロジェクト		南北約4kmにわたる「お倉ヶ浜」や「金ヶ浜」には、良質な波が1年を通じて打ち寄せることから、全国のサーフィン愛好者の間で「サーフィンの聖地」として注目を浴びている。 本プロジェクトはこうした好機を生かすため、サーフィンの国際大会を継続して開催・支援するなど、国内外へ知名度の向上を図り、サーフィン客の誘客を図る。 また、サーフィンを目的とした移住者や本市で働きながら休暇を楽しむワーケーションとして訪れる人も多く、それらの方々は本市での地域活動等を通じて地域活性化の一翼を担っている。 本交付金を活用して、サーフィン・海を核に、その他の地域資源を組み合わせたコンテンツ造成などにより観光消費額の増加を目指すとともに、都市部での移住セミナー等を開催し、新たな地域の担い手となるサーフィン移住者の増加、ワーケーションによる関係交流人口の増加による地域活性化を目指す。								
総合戦略の位置づけ												
戦略2 活力を生み出すにぎわいづくり												
事業開始		事業終期										
令和2年4月		令和7年3月										
実施事業名				総事業費	交付金対象経費	財源内訳		実施内容				
						交付金	一般財源等					
1	体験型観光等の造成支援やプロモーション（観光交流課）			12,750,652	12,750,652	6,375,326	6,375,326	差別化したプロモーション（「ヒュー！日向 マッチング短歌」など）、体験型観光コンテンツの造成、観光DX支援				
2	サーフィン等ビーチの魅力発信（観光交流課）			5,462,050	5,462,050	2,731,025	2,731,025	ヒュー日向ホームページによる魅力発信（フェイスブック・インスタグラムを含む）、国際大会のリアルタイムでの情報発信、のぼり旗作成				
3	サーフィン国際大会World Surf League QS3000の開催（観光交流課）			5,000,000	5,000,000	2,500,000	2,500,000	WSL QS3000 whitebuffalo HYUGAPROの開催支援				
4	ビーチの多面的利用の促進（観光交流課）			4,327,261	4,327,261	2,163,630	2,163,631	日向ビーチスポーツフェスの開催				
5	ワーケーションオフィス実施費用（商工港湾課）			9,999,000	9,999,000	4,999,500	4,999,500	日向市ワーケーションオフィス調査業務				
6	サーフィン移住促進（総合政策課）			569,830	569,830	284,915	284,915	サーフィン移住セミナーの開催				
合計（円）				38,108,793	38,108,793	19,054,396	19,054,397					
重要業績評価指標（KPI）				単位	事業開始前	KPI	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	増加分累計
1	サーフィン等利用客数（暦年）			人	253,592.00	目標値 実績値	10,000.00 △ 72,112.00	12,679.00 △ 125,177.00	21,556.00 △ 32,592.00	11,855.00 -	12,448.00 -	68,538.00 △ 229,881.00
2	年間観光消費額			百万円	2,497.60	目標値 実績値	80.00 △ 910.17	2,122.88 △ 653.00	212.29 △ 656.00	212.29 -	220.00 -	2,847.46 △ 2,219.17
3	「地方コト消費型」観光メニュー開発数			件	1.00	目標値 実績値	2.00 0.00	3.00 0.00	7.00 12.00	9.00 -	12.00 -	33.00 12.00
4	移住促進事業による移住者数(累計)			人	237.00	目標値 実績値	40.00 177.00	100.00 189.00	100.00 98.00	100.00 -	100.00 -	440.00 464.00
事業効果		地方創生に非常に効果があった	・コロナ禍ではあったが、SNSによる情報発信やビーチスポーツフェスの開催、サーフィン国際大会の開催支援などにより、サーフィン等利用客数が前年度より大幅に回復した。国内誘客プロモーションの一つ「ヒュー！日向 マッチング短歌」では、3,690首の投稿と1,814組のマッチングが実現し、テレビの全国ネットやBS放送、新聞、ウェブ記事など多くのメディアに取り上げられた。 ・「ワーケーション」については、サーフスポットに隣接するオフィスでの「ワーク」とサーフィン体験などの「バケーション」を組み合わせた実証実験を、都市圏のIT関連企業等を対象として行い、全国の先進地域として取り上げられるなど、高い評価を得た。 ・都市圏でのサーフィン移住セミナーを開催した。継続した取組により移住相談件数及び移住者数ともに順調に推移している。									
今後の方針		事業の継続	ヒュー日向ホームページを中心としたSNSによる情報発信やサーフィンの国内・国際大会の開催、ビーチ環境を活かした新たなイベントを展開してきたことでサーフタウンとして認知され、観光関連施設の民間投資も年々増加している。 本事業は、本市の宝である「海」を活用したものであり、今後も観光客や移住希望者、リモートワーカーのニーズの分析や情報収集を行い対応していくことで、更なる「サーフタウン日向」のブランド価値の向上につながるものであり、事業の継続は必要である。									
評価		コロナ禍によりサーフィン利用客数や観光消費額は目標値を達成できなかったが、徐々に回復途上にある。 また、本市の恵まれた海岸環境をサーフィンを軸にPRを継続してきたことで、サーフタウンとしての認知度が高まり、宿泊施設や飲食店舗など関連した観光施設の民間投資が増加した。加えて、ワーケーションの先進地としても注目されている。 今後も継続してPRすることで更なる交流関係人口及び移住人口、観光消費額の増加が期待される。										

【交付金種別】 地方創生推進タイプ[○]（道整備事業）

事業効果	地方創生に効果があった	林業においては、森林環境譲与税による森林整備や外国産材の価格高騰、SDGsの目標達成等に起因する国産木材需要の高まりに伴う森林施策が増大しており、基盤となる林道の開設・改良や、林産拠点（木材加工団地、バイオマス工場等）までのアクセス改善が望まれており、事業実施による効果は高い。
今後の方針	追加等変更し、発展させる	市道については、計画に基づきスムーズな進捗を図り、事業効果が発揮出来るよう、地元や関係機関と調整を図りながら進めていく。 林道については、事業主体の変更等による事業費の増額及び予算の前倒し執行を行い早期に事業効果を発現させる方針としている。 また、今後はその方針に伴う地域再生計画の変更認可申請を行う予定である。
評価	県営事業の林道開設工事に一部繰り越しが生じているが、素材生産は安定しており、市道ではバス路線の拡幅が一部実施され一定の効果が認められた。	